

# 市長メッセージ

---

## 新しい勝山市のスタートに寄せて

令和4年4月、勝山市の今後10年間のまちづくりの方向性を示す「第6次勝山市総合計画」がスタートします。この計画を指針に市民の皆さまの安全安心を第一とし、現在の社会情勢の変化に合わせた新しい勝山づくりを進めてまいります。



昭和29年の勝山市発足以来、67年が経過、計画期間中には喜寿を迎えることとなります。この間、市民の皆さまとともに、社会経済情勢の変化に対応しながら、暮らしやすいまちを目指して様々な取り組みを進めてまいりました。

現在の急速に進行する人口減少・少子高齢化、公共施設の余剰や老朽化、デジタル技術の高度化、災害の大規模化、脱炭素社会に向けた取り組み、そして新型コロナウイルス感染症をはじめとした新たな社会的脅威など、日本を、そして勝山市を取り巻く環境は大きく変化し、市民の皆さまの生活にも様々な影響が生じています。

このような中、教育委員会部局と市長部局の再編による市民活動・地域活動の活性化や地域福祉の充実、そして中高連携や福井県立大学恐竜学部誘致による新しい時代を切り拓くための教育環境の整備に注力してまいります。そして間近に迫った北陸新幹線福井・敦賀開業、中部縦貫自動車道の県内全線開通、恐竜博物館の全面リニューアルなどに合わせて、勝山市の強みである恐竜や自然・歴史文化を最大限生かし、農林水産業や観光産業の支援に取り組んでまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました勝山市総合行政審議会をはじめ、貴重なご意見、ご提案をいただきました市民の皆さまに心からお礼申し上げます。

第6次勝山市総合計画で掲げた10年後のまちの姿“わいわい わくわく 安全安心のまち かつやま”の実現に向け、市民の皆さまと一緒に新しいまちを創ってまいります。

令和4年4月

勝山市長 水上 実喜夫